

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>わかやまSOHOヴィレッジについては、近年入居率が減少していることから、事業費を見直すとともに、ベンチャー推進事業として継続することが妥当であるか検討していく。</p> <p>創業支援に取り組む民間事業者等への補助については、若年層の創業を促進することで、人口減少、若者の流出等の地域課題の解決につなげるため、事業を継続する。</p>
見直し・改善内容	<p>わかやまSOHOヴィレッジについては、貸出ブース数を6ブースから3ブースに削減し、事業費を縮小する。</p> <p>創業支援に取り組む民間事業者等への補助については、補助対象事業の要件を緩和することで利用者数の増加を図る。</p>